



特定非営利活動法人アスクネット

2016年度 年次報告書



ASK NET

# 代表理事挨拶

アスクネットでは2001年より、学校に市民講師をお連れし、子ども・若者たちに多様な大人たちとの出会いと挑戦の場を提供して参りました。その数は、平成28年度においては、15,869名にのぼり、その内、1,546名の若者たちがインターンシップを始めとした体験的活動に挑戦をしました。ご協力を頂いた受け入れ事業所数は455にものぼり、これも一重に地域の皆様のご理解とご協力があってこそその賜物であると感じております。

アスクネットのスタッフはこれまでに、活動を通して多くの先生方、多くの児童、生徒、学生とふれあってきました。コーディネーターという立場で陰ながらに支えさせて頂くことで、子ども・若者たちの悩み、課題、希望、喜びなど様々な人間ドラマをともに分かち合ってきました。

本来、若いということはそれだけで夢や希望のあふれた存在であります。そんな若者たちが今直面している社会は、非常に変化の激しい厳しい社会といえるかもしれません。それをどう乗り越え、生き抜いていくのか。こういった問題を単に個人の責任として退けるのではなく、彼らの尊厳が深く傷つけられ、未来への希望と生きる力を失ってしまわぬよう、早い段階から、学校（大学）、地域、行政、企業、それぞれのセクターが一緒になって協力していく必要があると考えています。

「最前線の現実の中にこそ、真実の生きた情報がある。」  
これこそが私どもの最大の強みであり、今後も活かし続けなくてはならない財産であります。

大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子先生は、「地域は土だ」と話されていました。そして「耕し続ける人が必要だ」と。法人設立15周年を迎えたアスクネットも、「学び合い、育ち合う共同体づくり」という団体のミッションに立ち返り、これからも、子ども・若者たちが健やかに育つ豊かな土壌を地域のみなさまと共につくって参ります。

**「学び合い、育ち合う共同体づくり」を  
共に目指していきたい。**

特定非営利活動法人アスクネット  
代表理事 白上 昌子



# 年表・アスクネット15周年の歩み

- 1999 年 愛知私学教育ネットとして事業開始 教育イベント支援スタート
- 2000 年 愛知私学関連事業開始
- 2001 年 愛知市民教育ネットに改名  
市民講師ナビ事業開始  
特定非営利活動法人（NPO法人）格取得
- 2002 年 西尾市 ボランティア・市民活動団体活用支援 データベース作成事業
- 2003 年 経済産業省 市民活動活性化モデル事業 高校生のための情報誌『S-ch.001』  
（現『Schan』）創刊
- 2004 年 文部科学省 地域子ども教室推進事業（安城まちの学校）
- 2005 年 日本たばこ産業株式会社助成事業「中高生のための社会起業家ナビ」  
経済産業省 地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト（瀬戸キャリア教育）  
（再委託）
- 2006 年 アスクネットに改名  
教育CSR事業開始  
経済産業省 チャレンジ・コミュニティ創成プロジェクト  
高浜市「たかはま夢・未来塾」、「たかはま子育て子育て応援団養成講座」  
トヨタ自動車株式会社「トヨタ子どもとアーティストの出会い」  
アイシン精機株式会社「アイシン青少年環境教育事業」
- 2007 年 経済産業省 理科実験教室プロジェクト  
経済産業省 地域自律・民間活用型  
キャリア教育プロジェクト（中核コーディネーター）
- 2008 年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター  
育成・評価システム開発事業（中核コーディネーター）  
経済産業省 社会人講師活用型教育支援プロジェクト  
経済産業省 地域新事業創出発展基盤促進事業  
（コミュニティビジネスノウハウ移転支援事業）
- 2009 年 経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業  
（研修プログラム作成・実証事業）  
愛知県 青年のための寺子屋塾事業  
愛知県 ふるさと再生雇用基金人材育成コーディネート推進事業
- 2010 年 内閣府 地域社会雇用創造事業ソーシャルビジネスエコシステム創出プロジェクト
- 2011 年 日本商工会議所産学協働教育を通じた中小企業の魅力発信事業
- 2012 年 名古屋市 協働コーディネート等業務委託事業
- 2014 年 愛知県 キャリア教育コーディネート人材育成事業
- 2015 年 第5回キャリア教育アワード経済産業大臣賞受賞  
高浜市 学習支援事業  
安城市 健康都市推進アクションプラン
- 2016年 名古屋市 学習支援コーディネート事業  
愛知県 キャリア教育コーディネーター活用事業





# 事業戦略（ミッション、事業一覧）

## - アスクネットの使命・ミッション -

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが

「学び合い育ち合う共同体づくり」を進める。

そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。

これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

## - 事業一覧 -

| 対象者     | 事業内容                         | 企業数      | 学校数  | 参加人数             | その他  | 対象事業名                     |
|---------|------------------------------|----------|------|------------------|--|---------------------------|
| 小学生     | 環境学習                         | 7社       | 31校  | 2422人            | 255講座実施（13市町）  | 教育CSR事業                   |
| 小・中学生   | ものづくり講座                      | 20事業所    | 50校  | 3771人            | 愛知県内全域   | 行政委託事業（愛知県）               |
| 小・中・高校生 | 社会人講話                        | 200名（講師） | 45校  | 7601人            | 部活動や生徒会などのリーダー研修（合宿型）なども実施。（38名+23名）                   | 市民講師ナビ事業                  |
| 中・高・大学生 | 学習支援（中・高）<br>学習支援ボランティア（大学生） |          |      | 35人<br>39人       | 生活困窮世帯に属する中高生向け学習等支援。<br>大学生ボランティア（チャレンジサポーター）が主体的に運営。 | 学習支援事業                    |
| 高校生     | インターンシップ                     | 437事業所   | 57校  | 979人             | 公募型23校、<br>学校独自型27校<br>（私立12校 公立15校）                   | 市民講師ナビ事業<br>高校生インターンシップ事業 |
|         | バスツアー                        | 10社      | 31校  | 291              |  | 行政委託事業（愛知県）               |
| 大学生     | 長期インターン                      | 2社       | 2大学  | 2人               |  | 教育CSR事業                   |
|         | 大学連携PBL                      | 6社       | 1大学  | 274人             | 8講座  | その他自主事業                   |
|         | なごや学生コラボフェス                  |          | 16団体 | 150名<br>企業、NPO含む | 「なごやを盛り上げる」テーマに大交流イベントを開催                              | 行政委託事業（名古屋市）              |
|         | 社会人講話                        |          | 6大学  | 525人             | キャリアデザインなど   | 市民講師ナビ事業ほか                |
| 一般市民    | 認定キャリア教育コーディネーター育成講座         |          |      | 10人              | 類計88名（2010年より）   | キャリア教育コーディネーター育成事業        |
|         | ケンサチグランプリ他                   | 27団体応募   |      |                  | 「幸せにつながる健康都市安城」の実現のためイベント開催                            | 行政委託事業（安城市）               |

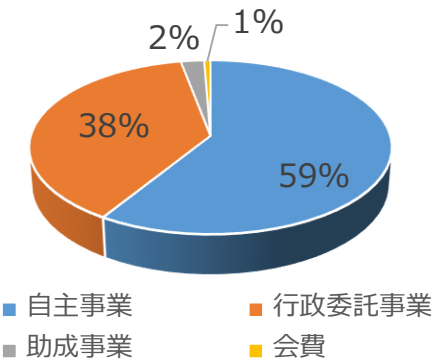
# 事業概況

## - 2016年度事業決算 -

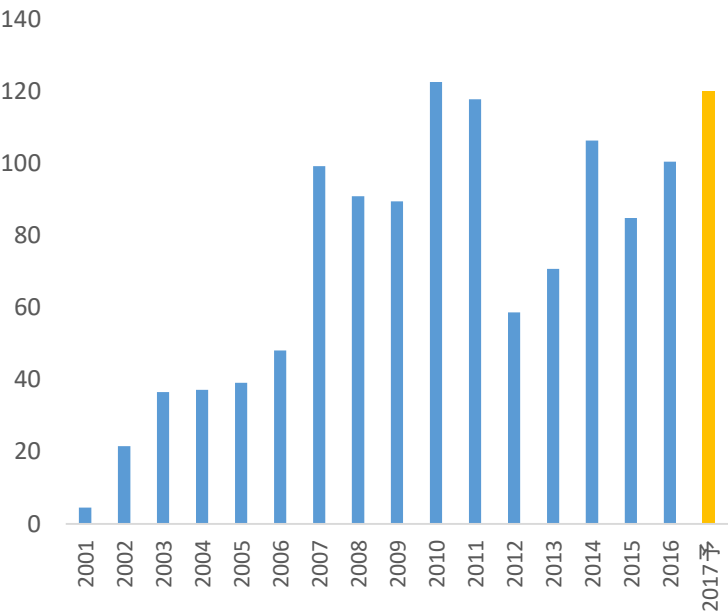
|                            |        |           |
|----------------------------|--------|-----------|
| 市民講師ナビ事業                   | 自主事業   | 約 3,434万円 |
| 教育CSR事業                    | 自主事業   | 約 1,269万円 |
| 教育団体協働事業                   | 自主事業   | 約 499万円   |
| 出会いと挑戦の教育普及啓発事業            | 自主事業   | 約 374万円   |
| 教育イベント推進事業                 | 自主事業   | 約 324万円   |
| キャリア教育CD育成事業               | 自主事業   | 約 112万円   |
| キャリア教育コーディネーター活用事業         | 行政委託事業 | 約 1,229万円 |
| 学習支援事業（高浜市）                | 行政委託事業 | 約 793万円   |
| 安城市健幸都市推進アクションプラン          | 行政委託事業 | 約 788万円   |
| モノづくり魂浸透事業                 | 行政委託事業 | 約 477万円   |
| 名古屋市学習支援コーディネート事業（コンソーシアム） | 行政委託事業 | 約 341万円   |
| 男女共同参画推進事業                 | 行政委託事業 | 約 265万円   |
| 受取寄付・協賛金（高校生公募型インターンシップ）   | 助成事業   | 約 240万円   |
| 会費                         | 会費     | 約 65万円    |

計 約 10,210万円

## - 事業財源内訳 -



## - 事業規模推移 -



# -市民講師ナビ事業-

アスクネットの中心事業の一つである本事業において、実施校は増加傾向。私立学校における、市民講師との出会いや高校生インターンシップ等を通じた体験から得た刺激や学びを次への行動へとつなげられる学習計画と授業実施において、各学校の特色に合わせたプログラムを展開した。

私立高等学校学校インターンシップ実施校

2015年度 10校 ▶ 2016年度 12校

\*南山高校女子部、聖霊高校が新規スタート

**570名** の生徒が、インターンシップ体験活動を実施。

【2016年度実施校】

愛知黎明高校、安城学園高校、黄柳野高校、桜丘高校、市邨高校、誠信高校、豊川高校、豊橋中央高校、杜若高校、同朋高校、南山高校女子部、聖霊高校（計12校）

- 地域密着型のインターンシップ
- 課題解決型インターンシップ
- 街づくりと組み合わせたプログラムなど



**15校 3,887名**の生徒が、社会人講座を受講。

延べ**175名**の講師が講座実施。

- 従来からの職業講話やマナー講座も継続実施
  - 市長を招いてのディスカッション
  - 社会的課題解決方法を学ぶ講座など
- 従来からのキャリア教育からの派生も



キャリア教育コーディネーターが各校に合わせた独自のプログラムを提供することで、質の高い「出会いと挑戦の教育」を通じた、学びあいのコミュニティづくりに寄与。特に高校生インターンシップは、普通科において、「超」進学校となる学校が実施する事例も生まれ、「職業教育」の枠で捉えられがちで実施が進みにくい中、非常に重要な事業年度となった。

# －教育CSR推進事業－

企業が教育に主体的に関わり、子どもたちの成長のみならず、企業も効果を生み出し、企業が積極的に教育に投資する潮流を生み出すことを目指す。事業実施にあたっては、行政など他のセクターとも連携。平成18年度から継続して実施している「アイシン環境学習プログラム」をさらに発展させるとともに、これまでの実績をPRし、他企業や関係講師、実施校教員との連携を強化し学習効果の最大化を図った。また、大学生による長期インターンシップでは、大学生2名のインターンシップをコーディネートした。

環境学習（2016年度）

**31校 2,442名** の児童に  
年間プログラムを実施。

- 行政とも連携し、アイシングループ・7社の事業所のある14市町で実施。
- 近隣地域の小学校で環境教育を通じて将来の担い手となる児童の育成をはかる。
- 小学4～5年生を対象に森・水辺・暮らし・産業からテーマを選定。
- 支援企業一覧  
アイシン精機株式会社、アイシン高丘株式会社、  
アイシン化工株式会社、  
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社、  
アイシン・エーアイ株式会社、  
株式会社アドヴィックス、アイシン機工株式会社



2006年度から累計

**248校 21,568名** の児童が受講。

大学生長期実践型インターンシップ（KUSAWAKE） **2社 2名** が実施。

- 石原農園  
学生が関与した「マルシェ」で、23回・売上約80万円を達成。昨年比20万円増。
- 有限会社絞染色久野染工場  
学生が関与した「浴衣絞プロジェクト」参加者87名売上約360万円を達成。  
昨年比160万円増。今年度の実績を引き継いで来年度から正社員を採用し、運営することになった。

2015年度実施した愛知県環境部による「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の事業実績を踏まえ、8月に教員研修を実施し、小学校におけるカリキュラムマネジメントへの活用を図った。児童の学びの定着をねらい、継続的な環境や地域社会への意識・取組みの変化を促した。  
また、大学生インターンシップにおいては、学生の成長だけでなく、企業の組織風土の開発や人材開発に貢献した。

# ーキャリア教育コーディネーター育成事業ー

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施した。

2016年度

エントリーコース参加者 9名

実践コース 参加者 10名



■説明会を兼ねた基礎講座 2回実施

■エントリーコース実施  
(4日間にわたる座学研修)

■実践コース  
(学校現場でのコーディネーション実施)

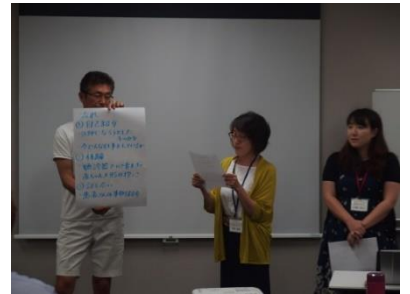
■キャリア教育コーディネーター全国大会in 大阪を5月に開催

職員はじめ、講座を受講した認定キャリア教育コーディネーターが東海・北陸エリアから数多く参加。全国の仲間とともにキャリア教育について研鑽を深めた。

2010年より、講座受講者数  
累計

88名

キャリア教育の理解・普及に貢献



2016年度の講座受講者の属性をみると、企業人、主婦、幼稚園教諭、高等学校教諭、民間学習塾の運営責任者、キャリアカウンセラーなど多岐に分かれており、様々な分野の方たちに、キャリア教育の理解・普及に貢献することができた。また、過去に本講座を受講した者が同じエリア内に住むOG同士でNPO団体を立ち上げたり、あるいは、別のOBが自分が勤務する会社で会社の特性を活かしたロボット講座を開発し、小学校でプログラミングの講座を実施するなど、OB・OGの活躍が目立つようになってきた。



# －高校生公募型インターンシップ事業－

(一般社団法人アスバシ教育基金助成)

2010年度から学校の実情に関係なく、愛知県内のどの学校の生徒でも挑戦できる、「マイチャレンジインターンシップ」を実施。普通科の生徒が積極的に参加しており、公立高校の進学校からの参加も増えた。進学志望者にもインターンシップ体験の意義が認識されてきたようである。受入先においては、製造業が加わり、業種が増えたこともあり、産業界とも一体となって生徒と社会のつながる機会づくりとして取り組むことができた。

2016年度

愛知県内の高校生 **27校 76名** が、  
3～5日間のインターンシップに参加。



- 事業予算として、企業協賛・一般寄付から構成される、一般社団法人アスバシ教育基金からの助成にて実施。
- 2014年度には、「第5回キャリア教育アワード・コーディネーターの部」で最優秀賞（経済産業大臣賞受賞）



累計（2010年度から）

**480名** の高校生が参加。

「高校生のマイチャレンジストーリー」

高校1年でインターンシップに参加したごくごく普通の生徒が、2年次には、まちづくりを行いたいといった明確な目標をもって再参加。インターンシップ終了後も自発的に受け入れてくれた事業所に関わり続け、その後協力してくれる仲間を増やしながら、有松の観光プランや商品開発を行うなど活動を広げ、3年次に高校生ビジネスプランコンテストで見事グランプリを受賞した。



高校生、大学生、教員、受入事業所、保護者、一般市民が参加するインターンシップ報告会で、上記生徒が3年間の成長エピソードを発表。高校生が気づき、変化することで、地域が巻き込まれていく姿を共有した。また、インターンシップに参加した、これまでのOB・OGが現役高校生に対し、進路選択相談会を企画・実施し、団体のミッションである「学び合い育ち合う共同体づくり」の形が垣間見られた。

# ーキャリア教育コーディネーター活用事業ー

(愛知県教育委員会委託事業)

愛知県立高等学校から16校を指定校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで指定校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「社会人講師によるキャリア教育に関する講座の企画・運営」、その他指定校におけるキャリア教育の支援を実施した。

## ■事業の内容 愛知県内16校を指定校とし、以下の業務を実施した。

1. 学校との連絡調整。
2. キャリア教育の実施状況とニーズの把握。
3. インターンシップ等、キャリア教育に関する体験活動受入先の新規開拓と連絡調整。
4. キャリア教育に関する社会人講師の新規開拓と連絡調整、企画・運営支援。
5. キャリア教育コーディネーター推進会議の開催。
6. 進捗状況の報告。

■新規参加生徒 のべ **653**名 が、  
1～5日間のインターンシップ等、体験活動に参加。

■新規受入先事業所 **262**事業所が、  
インターンシップ等、体験活動を受入れ実施。

■社会人講師 **40**名による講座を、**13**校、  
**50**回実施。のべ**3,268**名に、  
働くことの心構えや、職業に関する知識や技術を  
学び、勤労観・職業観を醸成するきっかけを提供。

■教員研修会として、**26**校 **33**名の  
県立高等学校教員に対し、キャリア教育推進に  
つなげる目的で研修会を実施。



これまで先駆的に実践してきた、市民講師ナビ事業・インターンシップ事業のノウハウを元に、各校状況や要望に基づいてコーディネーターが受入先との打合せ・調整を行った。また、事前・事後学習を行うことで、目標設定や気づきの共有も行い、体験活動をより効果的なものにし、その後の学習意欲の向上や積極的な進路選択につなげることができた。  
愛知県内の県立高等学校における、キャリア教育を推進していく上での課題に、「キャリア教育コーディネーター」を活用することで、大きく解決に向けてのアプローチができた。

# －高浜市学習支援事業－

高浜市在住の生活困窮世帯に属する中学生・高校生を対象とした学習等支援事業。

対象生徒は、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯、その他困窮のリスクが高い生徒（母子・父子親家庭、不登校、特別支援学級、著しい学習遅滞等）とし、毎週土曜日（夏休みは火・木・土の週3回）の9時30分から16時まで、高浜市いきいき広場で学習支援教室を実施している。生徒の学習支援は大学生ボランティア（チャレンジサポーター）が主に行い、高浜市のボランティア団体が昼食の支援を行っている。その他、生徒のキャリア教育のため、月1回程度、社会人や大学生による講座や、生徒自身によるイベントの実施等を行っている。

2016年度

**62回 35名**の中・高生が  
学習支援教室に参加。

■昼食支援：利用生徒のべ619名（1回あたり約11.7名）、登録支援団体16団体

■学習支援ボランティア：登録者数39名、参加人数のべ390名（1回あたり約7.4名）



学習支援ボランティアとして、

**39名**の大学生が登録。

■高浜市との協力の結果

- ・「こども貧困対策会議」発足
- ・「たかはま子ども食堂支援推進協議会」発足
- ・「こども食堂支援基金」設立



昨年度に引き続き、参加生徒への支援を行った。今年度は、高浜市福祉部を通じて地元中学校とも連携を取り、昨年度より生徒の情報共有などの関係構築をすることができた。また、2年目ということもあり、参加生徒の支援だけではなく、高浜市と支援体制の構築を進めた。その結果、「こども貧困対策会議」の発足や、「こども食堂支援基金」の設立など、子どもに関する支援制度の充実が進められた。参加生徒の満足度も高く、概ね順調に運営が進んだ。



# －名古屋市学習支援コーディネート事業－

家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかった。なお、本事業においては、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行った。

## 学習支援受託業者25事業所

全**68**教室 合計**1,020**名の  
生徒たちの運営に関するサポート  
およびコーディネーションを行った。



### ■事業者研修会

運営責任者および学習サポーターに対して研修を実施した。参加者数のべ199名（全2回）



### ■事業者交流会

名古屋市学習支援事業受託事業者に対して意見交換会を実施した。参加者のべ58名（全2回）

### ■学習サポーター交流会

学習サポーターに対しての交流会を実施した。  
参加者 38名



### ■受託事業所に対して、参加児童の学習計画等への相談助言等の業務を行なった。

名古屋市内16区のすべての児童館および民間事業者（9事業者）に対して生徒募集のとりまとめ、および、運営関係者に対してコーチング研修などを行った。教室運営における質の向上に向け、寄与することができた。



## -その他 行政委託事業（愛知県）-

### ◆モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」を受託。平成31年度に本県で開催する技能五輪全国大会及び現在招致を行っている平成32年度技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会に向けて、県内での技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣し、授業や課外活動等において実演披露やモノづくり体験、職業講話等を実施した。

2016年度 愛知県内の小・中学生 **51**校

**3,514**名が、モノづくり講座に参加。

- モーター作りやペットボトルロケット体験など、理科教育に関する講座や、筆作りや絞り染め体験などの伝統産業のモノづくりを学ぶ講座を実施。
- 各分野で活躍されている職人の方を講師として招聘し、モノづくりへの関心を高めるようなきっかけを提供。



### ◆高等学校男女共同参画推進事業（職場体験バスツアー）

男女がともに自立して個性と能力を発揮し、社会形成に参画する能力を身に付けさせるため、先進的に男女共同参画に取り組んでいる企業等へ高校生・教員が出向き、企業見学、就業体験、職業人講話等を通して、志望する職業への理解を深めることを目的として、企業等訪問を実施した。

- 「ワーク・ライフ・バランス取組好事例集」掲載企業や愛知県より紹介企業を中心に、計7社にて実施。
- 参加者（生徒・教員）は、のべ**134**名。
- 社員と直接対話を狙った座談会や、合同で事後学習（振り返り）を等も実施した。



モノづくりのプロが次世代の担い手を育てていくという好循環を生み出すことや、男女共同参画についての学びを深める場を設けることができた。また、これらの仕組みを作っていく上でキャリア教育コーディネーターの存在価値は非常に大きく、愛知県の産業を支える一端を担うことを実感した。

# -その他 行政委託事業 (名古屋市、安城市) -

## 【名古屋市】

なごや学生コラボ★フェス開催

2月25日(土) 14:00~17:30

於：名古屋国際センター

### ■開催趣旨

「学生が地域とつながる」をテーマになごやを盛り上げる学生たちが事例を持ち寄り、発表を通じて新しい発想や仲間と出会う「学べて」、「つながる」大交流イベントを開催し、学生団体、企業、NPOと新しい繋がりを広げる機会となった。

2016年度

**150**名(学生、企業、NPO) **16**の学生団体が参加。

### ■特別講演

山崎大祐氏(マザーハウス株式会社代表取締役副社長)

### ■事例発表

- ①愛知淑徳大学 エコのつぼみ
- ②中京大学 共育クラブ
- ③NAGOYA学生キャンパス「ナゴ校」
- ④名古屋市博物館サポーターMARO
- ⑤名古屋わかもの会議

### ■ポスターセッション(交流会)



## 【安城市】

第8次安城市総合計画の目指す都市像「幸せつながる健幸都市安城」の実現のため、市民や地域、企業などが一体となり健幸の循環が醸成される事業を実施した。

### ■ケンサチグランプリ

応募 8月~9月に**27**団体が応募。

グランプリ最終選考に**3**団体が通過。

- ①アグリパーク安城(創年塾 耕し人)
- ②スギ健幸ステーション(株式会社スギ薬局)
- ③ウォーキング・ストレッチからはじめよう  
☆スマイルライニングWith ANJO Running Web SITE

### ■健幸サイトの構築

健幸の取組みを紹介する特設サイトを立ち上げた。

<http://kensachi-anjo.jp/>



## -その他 自主事業-

### ◆愛知サマーセミナー

7月16日（土）～18日（月） 於：東海学園大学・高等学校

■「第12回教育コーディネーターフォーラム2016」開催（7月16日実施）

テーマ：「アクティブラーニングの究極のカタチ？！」

【ゲスト】

生重幸恵氏

（一般社団法人キャリア教育コーディネーター

ネットワーク協議会代表理事）

浦崎太郎氏（岐阜県立高校教諭）

毛受芳高氏（一般社団法人アスバシ教育基金代表理事）

【ファシリテーター】

本間正人氏（京都造形芸術大学副学長 教授）



### ◆大学連携の取り組み（産学連携）

愛知淑徳大学でのPBL（project based learning）における授業サポートを行った。

- 星ヶ丘モデルプロジェクト 連携先：東山遊園株式会社、東海労働金庫、株式会社高瀬金型
- 企画立案基礎 連携先：有限会社ヨコイスパゲッティ、名古屋市大学政策室、NTTタウンページ株式会社
- イノベーションC 連携先：瀬戸信用金庫

### ◆代表理事による会議等対外活動実績

#### ■委員

文部科学省 消費者教育推進委員会 委員（文部科学省男女共同参画課）

愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議 委員（愛知県政策企画局企画課）

あいちICT活用推進本部有識者会議 委員（愛知県地域振興部情報企画課）

名古屋市教育委員会事務の点検・評価委員（名古屋市教育委員会）

刈谷市グローバル人材を活用したESD推進メニュー開発会議 委員

（刈谷市市民協働課）高浜市

こども貧困対策会議 委員（高浜市福祉部）

東海若手起業塾 実行委員

#### ■講演

名古屋南地区 地域推進会議（名南工業高等学校）教員研修講師

一宮地区 地域推進会議（木曽川高等学校）教員研修講師

愛知県職員二年目研修（愛知県自治研修所）研修講師

名古屋大学情報文化学部 「情報と職業1」 非常勤講師

椋山女学園大学 現代マネジメント実務研究A 非常勤講師

愛知教育大学 キャリアデザインⅣ 講師

名古屋大学 世界を舞台に働く！講演会 講師（名古屋大学国際教育交流センター）

### ◆その他の事業 なし。

# 設立15周年を迎えて（ご報告）



## 団体ロゴのリニューアル

アスクネット法人化15周年を記念して、この度、ロゴをリニューアル致しました。  
A S Kの3つのかしら文字をモチーフに、『繋がり』『優しいリズム』  
『包み込むような丸みを帯びた形』を  
アスクネットの活動と重ね合わせたデザインとなっています。

子どもも、大人も。障がいのあるなしも。文化や家庭環境の違いさえも。ともにその違いを学び活かしあっていく社会。離れているようで、繋がっている。

ご縁を頂いた様々なステークホルダーの方々とともに、  
それぞれの良さを活かしあいながら、  
ともに手を取り合い、一体となって、地域に新しい価値を芽吹かせ前進していく。

そんな思いを込めて作成しました。



2016.12.23

2016年忘年会兼15周年記念パーティーを開催。

於：ENCORE（アンコール・名古屋市東区）





ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット

〒456-0006

名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3F

Tel: 052-881-4349 Fax:052-881-5567